

PROFILE



オルガン

飯 靖子
SEIKO II

オルガン

飯 靖子

桐朋学園女子高校音楽科を経て同音楽大学ピアノ科を卒業。

国立音楽大学大学院オルガン科修了。

ドイツ(東ドイツ)ライプツィヒにてH. ケストナー、W. シェテリッヒに師事。

ルーテル学院大学、拓殖大学、洗足音楽大学などの講師、青山学院オルガニスト、第2部聖歌隊指揮者、青山学院女子短期大学教授を歴任。

現在、キリスト教放送日本 FEBC「主に向かって歌おう」パーソナリティー、東京 21 合唱団音楽監督、日本基督教団霊南坂教会オルガニスト、聖歌隊指揮者(兼任)。

2022 年度より青山学院高等部ハンドベル部コーチを務める。

ヴィオラ

飯 顕

1987 年、東京生まれ。3 歳よりヴァイオリンを始める。

私立桐朋学園女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部に入學。大学 4 年次にヴィオラに転向後卒業し、同大学研究科を修了。

クラシックだけに留まらず、ポップス、ロック、和太鼓とのコラボレーションなど、多彩な活動を展開している。

これまでにモーツァルテウム音楽院での夏期セミナー、草津国際アカデミー、桐朋学園富山室内楽特別講座、ハイリゲンベルグ国際アカデミー、サイトウ・キネン若い人のための室内楽勉強会、プロジェクト Q 第 4 章～第 6 章、小澤征爾オーケストラ・プロジェクト I 等に参加。

今までにヴァイオリンを波多野せい、石井志都子の両氏に、ヴィオラを故・江戸純子、小林秀子、店村眞積の各氏に、室内楽を原田幸一郎、ギュンター・ピヒラー、今井信子、毛利伯朗、原田禎夫、東京クワルテットの各氏に師事。

現在、拓殖大学非常勤講師、クライネ・ハーモニー・オーケストラ楽団長。



ヴィオラ

飯 顕
AKIRA II

青山学院初等部のパイプオルガンについて

初等部のパイプオルガンは、ルドルフ・フォン・ベッケラートオルガン製作所で作られました。

ベッケラート社は、北ドイツ ハンブルグ市に所在します。同社は、第二次大戦後、ルドルフ・フォン・ベッケラート氏により設立されました。生存中、ベッケラート氏の名声は高く、ドイツ復興期に国内の多くの教会にその作品が設置されました。またフランス、スウェーデンなどヨーロッパ内はもとより、アメリカ、オーストラリア、南アフリカ、

日本、そしてインドにも同社のオルガンが導入されました。

日本における同社の作品は、ベッケラート氏の後継者によって各地に多数設置されています。その主なものは、同志社大学、東北学院大学、立教大学、などキリスト教主義の大学、霊南坂教会、岡山教会、聖ヶ丘教会などの教会、また、国立音大、作陽音大のホールに、そして、松本市、松江市、習志野市などの公共ホール等です。

